

<オンライン会社説明会 質疑応答>

開催日：2022年8月26日(金)13:30-14:30

説明者：財務部 IR 室長 荒木 裕一

【説明会での質疑応答】

Q1: 昨今の地政学リスクによる、資源価格のブレや、為替の変動など、変化の大きい世界情勢にある中、当社への影響は？

該当資料なし

地政学リスクは避けられないものと考えており、情報収集やポートフォリオの構築、分散や転用によってマネージしています。また、リスク総量が企業体力を超えないよう、管理も行っています。

資源価格のブレに関して、当社は他商社と違い、資源権益は持っていないため大きな減損などは見込んでいません。当社の強みを活かせる自動車関連の資源、例えば自動車のバッテリー用にリチウム等の開発は行っています。(自社による開発、採掘ではなく、販売権をもっている状態。)

為替変動リスクに晒される外貨建ての取引については、為替予約などによるヘッジ策を講じており、止むを得ない理由でヘッジできないものについては、ポジション限度枠を設定し、実績を定期的にモニタリングする中で、為替変動リスクを低減する施策を講じています。

Q2: 大手総合商社との比較で、豊田通商の強みは？

該当資料なし

総合商社というより強みを持った専門商社の集まりでいたいと考えています。

説明資料(P.7)にもあった、グループウェイ「現地現物現実」の通り、「作業服を着た商社マン」として、現場に立ち、現場で汗をかき、お客様のニーズをしっかりとくみ取ることが当社の特徴とっており、利益構造を見ても、他の商社のように持分法投資損益の割合は多くなく、本業で稼いだ営業利益が圧倒的に多く、自らが汗をかいて稼いでいると思っています。

どちらの構造がいいというわけではありませんが、自らが関わることで事業の改善もでき、つまり、主体的に事業を動かしていることが私たちの特徴です。

また、他商社に比べて、資源事業が少ないのも一つの特徴だと思っています。

Q3:脱炭素社会に対しての取り組みをより詳細に教えてください。

該当資料なし

日本政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという目標を掲げています。その実現のためには日本全体の二酸化炭素の排出量の4割を占める電力分野の「脱炭素」は不可欠と考えています。当社は日本最大級の再生可能エネルギー発電会社(ユーラスエネルギーホールディングス)を擁しており、他社に先んじて脱炭素経営の取り組みを進めることにより、差別化を図ることができるとともに、新たな取引先やビジネスチャンスの獲得に結びつくことが可能と考えています。

【説明会で時間の関係上お答え出来なかったご質問への回答】

Q4:「Be the Right ONE」とはどういう意味ですか？分かり易く日本語で説明してください。

該当資料なし

当社では、日本語で定義をご説明する際、豊田通商はパートナー・ステークホルダーにとって「代替不可能・唯一無二」の存在としています。これをさら噛み砕くと、「求められる」「かけがえのない」、すなわち、お客様やステークホルダーに選ばれ続ける、そんな存在でありたいという意思を表しています。

Q5:ROAは、何パーセントですか？

該当資料なし

ROA:3.6% (22年3月末時点)

Q6:コロナの影響、並びに対策を教えてください。

コロナ禍での気づき

■終わりなきBCPの強化

地道な計画づくりと継続的な改善に裏打ちされたBCPの仕組みがあったからこそ、供給を切らさない、ラインを止めないという意志を遂行できました。

■エコノミー・オブ・ライフに関わるビジネスの経済環境変化の耐性の高さ

電力・エネルギー、物流、ITインフラ、化学品、保険、ヘルスケアなど、エッセシャルビジネスが持つ経済環境変化の耐性の高さを実感し、中長期的な展望と意志を持ってポートフォリオ構築に取り組み重要性が再確認できたことが収穫となりました。

■デジタル技術の活用「徹底」

デジタル技術を最大限活用し、仕事の効率化・生産性向上によるリーンな経営、コスト削減を図る既存ビジネスのオペレーション付加価値を磨き上げ、お客様への価値提供を最大化していきます。

コロナ禍では、緊急事態宣言時は在宅勤務、まん延防止等重点措置時には、出勤率を 50%に上限とし、働き方改革の一環として、オフィス改革を実施(名古屋 9 階、10 階、14 階)しました。

昨年 12 月、国内の新規感染者が落ち着いてきていたことから、ニューノーマル期の働き方として、個人の月間の在宅勤務 40%を上限に、出社を原則とした運用を開始しました。直近感染者状況や政府および都道府県の方針などを考慮し、出社制限要否を適宜判断・実施しています。

Q7: 受発注システムや、工場のシステムは社内開発でしょうか？外部委託開発でしょうか？

該当資料なし

当社の受発注、物流システムについては、取引先様のご要望により、外部委託開発を使用することもあります。当社が事業として開発・運営しているものも御座います。

例えば、「Stream】をご紹介します。

「サプライチェーンを強くする」をコンセプトに、オンラインでお客様と繋がるプラットフォーム。デジタル変革推進やカーボンニュートラル実現への貢献を目的とし、完全無料のオープンイノベーションプラットフォームとして、社内外問わず、新しい技術や商材などを掲載し、マッチングを実施しています。

Streams INCUBATIONS : <https://www.g-streams.com/streamsincubations>